

# 被災者の医療費・介護利用料等の 免除継続を求める請願・意見書を採択

6月定例  
県議会  
(6/19~7/3)

## 被災者の切実な願いに自民党が反対

県民から提出された請願に対する盛岡選挙区  
選出県議の態度 (賛成:○ 反対:×)

議員名 (党派)	被災者の医療費・ 介護保険利用料等 の免除継続を求め る請願・意見書	減らない年金制度の 実現を求める請願
斉藤 信 (日本共産党)	○	○
小西 和子 (社民党)	○	○
阿部 盛重 (改革岩手)	○	×
軽石 義則 (改革岩手)	○	×
高橋 但馬 (改革岩手)	○	×
千葉 絢子 (県民クラブ)	○	×
吉田 敬子 (無所属)	○	×
小野寺 好 (公明党)	○	×
樋下 正信 (無所属)	×	×



県保険医協会の請願提出に出席する斉藤県議(6月26日)

年金者組合県本部・いわて労連・県社保協が提出した「減らない年金制度の実現を求める請願」は、自由民主クラブ、いわて県民クラブ、創成いわて、改革岩手の一部、公明党、無所属の議員が反対し不採択となりました。83%が「国の年金制度に不安を感じる」(7月1日付・読売新聞)

6月定例県議会が6月19日から7月3日まで開催されました。県保険医協会、復興県民会議・県社保協の皆さんから提出された「被災者の医療費・介護保険料

### 減らない年金制度の実現を求める請願は不採択に 消費税増税を前提とした手数料・使用料引き上げに反対

「被災者の切実な願いに、自由民主クラブと樋下正信県議が反対しました。」

「材料等の免除継続を求める」請願と意見書が圧倒的多数で採択されました。これによって大震災から10年目の来年も継続実施される道筋ができました。被災者の切

「岩手県手話言語条例の制定を求める請願」、「Jリーグスタジアム」に反対しました。

「岩手県手話言語条例の制定を求める請願」、「Jリーグスタジアム」に反対しました。

## 来年度県立高校の学級減・学科減、 部活動顧問によるパワハラ問題を質す

商工文教委員会では、来年度の県立高校の学級減・学科再編の計画案が示されました。盛岡北など10校が計画通り学級減・学科減を実施、盛岡三、盛岡工業など5校が学級減を見送り、葛巻など今年度学級減を見送った5校は再び学級減を延期し、山田と一関工業は学級減とすることです。学級減を見送った措置については評

市教委は、行き過ぎた指導を認め「不適切な指導により退部に追い込まれることはあってはならない。しっかりと調査し、再発防止策を示したい」と7月中旬に調査結果をまとめる予定だ」と答えました。



商工文教委員会で質疑に立つ斉藤県議(7月1日)

盛岡市内の中学校の部活動顧問による生徒に対するパワハラ問題を取り上げました。部活動顧問教師は、機械的な指導を受け入れない生徒に「あいつは問題児だ」といった悪評を流し、県内でもトップクラスの成績を収めていた生徒を差別扱いし、生徒は退部に追い込まれました。県教委の山村教職員課総括課長は、「盛岡

県民と心ひとつに  
日本共産党  
斉藤 信の  
県政報告

2019年7月 No. 165

発行: 日本共産党岩手県議団事務局

斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241  
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6

日本共産党控室 TEL. 019(629)6050  
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

斉藤信のホームページ

<http://www.saito-shin.sakura.ne.jp>

## 日本共産党演説会

○日 時: 8月9日(金) 午後6時半~

○会 場: 岩手県民会館大ホール

○弁 士: 市田忠義副委員長・参議院議員

斉藤信県議会議員

盛岡市議団 (庄子春治、高橋和夫、鈴木つとむ、かんべ伸也、三田村あみこ)

入場無料です。お気軽にご参加ください。





# 県民の皆さんと力を合わせて実現しました 達増県政の推進力として全力で頑張ります

## 福祉 くらし

- 子どもの医療費—小学校まで窓口無料に(8月~)
- 35人学級—小・中学校全学年で実施(2019年度~)
- 高すぎる国保税の引き下げを求める



子どもの医療費助成の拡充を求める岩手の会の皆さんと八重樫保健福祉部長に申し入れ(18年9月12日)

子どもの医療費の窓口無料化は、お母さん方と力を合わせて、就学前までの無料化(16年8月)に引き続き、今年8月から小学校卒業までの窓口無料化が実現しました。さらに中学校卒業までの無料化をめざします。

35人学級は、今年度から小学校・中学校の全学年で実現しました。低所得なのに高すぎる国保税となっている構造的な問題の解決へ、全国知事会も提言しているように、1兆円の国費投入で協会けんぽ並に引き下げを求めてきました。子どもにもかかる均等割の減免と、滞納者へのペナルティーの中止、生活再建への支援こそ必要と提言しています。

## 震災 復興

- 被災者の医療費免除措置を9年連続で実施
- 被災地福祉灯油を8年連続で実現
- 被災県立病院(高田・大槌・山田)を再建

東日本大震災津波から8年4ヶ月一。毎月被災地に出かけ、被災者の声を届けてきました。災害公営住宅では、高齢化と生活苦の中で孤立化・孤独化が進行しています。再建した事業者は売り上げが下がる中、借金返済の時期を迎え正念場を



漁業・水産業の復興と課題を考えるシンポジウムを宮古市で開催(18年10月20日)

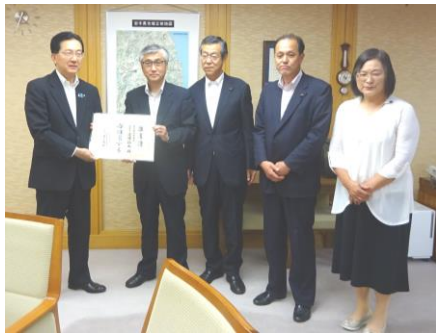
います。被災者の皆さんと力を合わせ、被災者の医療費・介護保険利用料等の免除措置を今年12月まで9年連続で実施。被災した高田・大槌・山田の県立病院も昨年までに再建整備されました。

大不漁に直面している漁業と水産加工業再建へ、あらゆる支援の強化を求めてきました。

## 市民と 野党の 共闘

- 前回知事選で野党共闘を実現、今回も
- 参院選で野党統一の横沢たかのりさんが勝利

安倍政権の暴走をストップさせる力は、市民と野党の共闘です。前回知事選挙での野党共闘は、全国に大きな影響を与え、その後の参議院選挙での野党共闘の実現につながりました。今回の知事選は4野党が推薦。引き続き市民と野党の共闘発展に全力で取り組んでいきます。



達増知事に推薦証をわたす菅原県委員長と3人の県議団(19年6月28日)



横沢たかのりさん(中央)が党県委員会の事務所を訪れ、がっちり握手(19年7月22日)

参議院選挙では、野党統一の横沢たかのりさんが自民党現職との大激戦を制し勝利しました。野党統一候補は、秋田・山形・宮城をはじめ、32の1人区のうち10選挙区で勝利。この勝利が自民・公明・維新の改憲勢力が3分の2を割り込む決定的な要因となりました。

## 県議会 改革

- 「核兵器禁止条約の批准」、「辺野古への土砂投入中止」—県議会で意見書を採択
- 県議会議員の特権的な海外視察は中止を
- 県議会棟を含めた県庁舎の敷地内禁煙を求める

県民からたくさんの切実な請願が提出され、「核兵器禁止条約の批准を求める」請願と意見書を全国に先がけて採択(県内33市町村のうち32市町村でも採択)。達増知事はじめ33の全市町村長がヒバクシャ国際署名に署名しました。「辺野古への土砂投入中止を求める」請願・意見書は本土で初めて採択。「森友・加計疑惑の徹底解明を求める」請願と意見書、「働き方改革一括法の廃止を求める」請願と意見書も全国で初めて採択しました。

東日本大震災津波からの復興に取り組んでいる中で、県議会議員の特権的な海外視察(一人上限90万円)が再開され、厳しく反対しました。

7月1日から県庁舎をはじめとする県立施設の敷地内禁煙が実施されていますが、県議会棟は対象外となっています。岩手県議会では議員提案条例で平成26年に「岩手県がん対策推進条例」を制定。「公共性の高い施設での受動喫煙防止」を掲げており、条例の立場からも県議会棟の敷地内禁煙を強く求めました。



佐々木順一議長にたいし、県議会棟の敷地内禁煙の実施を求める申し入れ(19年6月10日)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
24日 盛岡市戦没者追悼式、年長者組合早稲	21日 盛岡市戦没者追悼式、年長者組合早稲	19日 岩手県議会議員選挙	18日 岩手県議会議員選挙	17日 岩手県議会議員選挙	16日 岩手県議会議員選挙	15日 岩手県議会議員選挙	14日 岩手県議会議員選挙	13日 岩手県議会議員選挙	12日 岩手県議会議員選挙	11日 岩手県議会議員選挙	10日 岩手県議会議員選挙	9日 岩手県議会議員選挙